

北海道大学(学部入学定員:2,560人)

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

グローバルなコミュニケーションツールとしての英語力、グローバル時代の課題解決力、国際社会の中での日本人としての自己省察力と責任感を有した「国際社会の中で日本人としての自覚を持って生き抜くリーダー」を育成する。

## 【構想の概要】

全12学部の入学者の中から一定の英語能力を有し、希望する200人を対象とした特別教育プログラムである「新渡戸カレッジ」を創設する。このほか、一部授業の他大学への開放、海外オフィスの共同利用、研修の合同開催等の取組の実施によって国内大学のグローバル化を牽引する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

科目ナンバリング制度を全学的に整備し、カリキュラムマップに基づく体系的かつ順次性に従った学習制度を整備するとともに、双方向型授業やアクティブ・ラーニングなどの課題解決型の能動的学修を推進する。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

現在改訂中の本学HPを通じ本学の教育情報を一元的に発信するとともに、新渡戸カレッジの教育内容とその効果を対外的に可視化する。

### ○ 事務体制のグローバル化

各種研修プログラムの実施を通じ、第3期中期目標・中期計画期間終了時までには事務職員の20%程度を英語で留学生や外国人研究者と対応可能なレベルにする。



〈米国留学中の新渡戸稲造〉  
※所蔵：北大附属図書館

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成



〈留学体験プログラムでの学習〉

### ○ 「新渡戸カリキュラム」の実施

実践的英語力を育成する「留学支援英語」、チームワーク力を身につける「フィールド型演習」、多文化状況の中での課題解決力等を育成するカリキュラムを実施。

### ○ 同窓会との連携による「新渡戸ネット」を通じた人材育成

新渡戸カレッジの副校長、運営委員、カレッジ生のメンター及び授業講師等において同窓会と連携し、カレッジ生のキャリアデザイン力を育成する。

### ○ プログラムにおける質の保証

【参加時における質保証】:TOEFL-iBT61点相当以上の語学力を有する学生から選考。

【卒業時における質保証】:語学力・留学経験だけではなく学士課程教育全体の成績を含めて質の高い学生であることを担保。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

新渡戸カレッジへの入学希望者には、事前に英語力を測定するプレイスメントテストを実施し、TOEFL-iBT61点相当以上の者を対象とする。また、一部部局においてTOEFL等のスコアを活用した入試をAO入試の改善を通じて実施する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

新渡戸カレッジにおいては、従前から編成されている習熟度別・技能別のステップアップ方式による英語授業に加え、英語でプレゼンテーションやディスカッションができる力を養成する語学授業を実施する。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

講義・演習英語化の推進力として、学内全部局のバイリンガル教師のネットワークである英語母語話者教師団(CEPU: Central English Program Unit)を組織し、CEPUを中心として英語による授業の大幅増加を図る。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

全学を対象として、英語による授業を実施するためのFDを実施する。一例として、アクティブ・ラーニングを実施する教員を対象にした研修の実施や、優れた授業を実施している教員の授業を公開し、教員の授業参観を受け入れるシステムの拡充を図る。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

高校生に配布する募集要項への情報記載等による入学前からの周知・動機付けを実施する。また、海外留学アドバイザーを配置し、留学先での履修計画を作成する際のアドバイス、帰国後の単位認定申請までを一貫してサポートする体制を整備する。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

海外留学前には事前面接等によるサポートを実施する。また、海外留学中の緊急時には海外オフィスのサポート、帰国後には産業界との連携等による就職支援の実施など、留学前から留学後にわたって一貫した支援体制を構築する。

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

(1) グローバルなコミュニケーションツールとしての英語力

入校時、TOEFL-iBT61点相当の学生の英語力を、卒業時に100点以上(カレッジ生の10%)、90点以上(同30%)及び80点以上(同60%)相当まで引き上げるとともに、

- ① 自らの考えを英語で相手に効果的に伝えることができるようになるとともに、身近な話題について英語で議論を進めることができるようになる。
- ② 専門分野に関する内容を英語で理解できるようになる。
- ③ 誰とでも臆することなく英語で対話できるようになる。

(2) グローバル時代の課題解決力

① チームワークやリーダーシップや責任感をもって行動することの重要性を理解する。また、取り組むべき課題を特定し、課題解決にあたって、チームで対応できるようになるとともに、状況に応じてリーダーシップを発揮できるようになる。

② 異文化に対する寛容な態度をとることができるようになる。

(3) 国際社会の中での日本人としての自己省察力と責任感

① 自らの特性や将来を見つめ、キャリア・デザインを行うことができるようになる。

② 海外で日本文化・日本社会についてある程度紹介できるようになる。

③ 責任をもって活動することの重要性を身をもって体験し、実践できるようになる。

**本構想において実現する達成目標**

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				100人	120人	150人	200人
うち海外留学未経験者数(A)				20人	15人	15人	15人
海外留学経験者数(B)		151人	221人	290人	360人	430人	500人
卒業[予定]者数(C)		2,613人	2,560人	2,560人	2,560人	2,560人	2,560人
比率((A+B)/C)				12.1%	14.6%	17.4%	20.1%
全 学 部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT80点相当		100人(20)	120人(15)	150人(15)	200人(15)
	海外留学経験者数	151人	221人	290人	360人	430人	500人
	3カ月未満	107人	161人	214人	258人	302人	346人
	3カ月～1年	44人	60人	75人	100人	125人	150人
	1年超	0人	0人	1人	2人	3人	4人
卒業[予定]者数		2,613人	2,560人	2,560人	2,560人	2,560人	2,560人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。